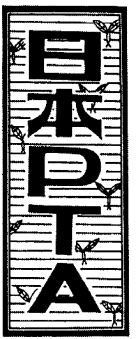


平成23年度通常総会開催

一人ひとりが心の通う丁寧な活動を



発行所
〒107-0052 東京都港区赤坂
7丁目5番38号
社団法人日本PTA全国協議会
発行人 相川 敬
電話 03(5545)7151
FAX. 03(5545)7152
ホームページアドレス
http://www.jppta.or.jp/

綱領

本会は教育を本旨とする民主的団
体であり、不偏不党・自主独立の
性格を堅持し、PTAの健全な発
展の維持、並びに青少年の幸福な
成長を図ることを目的とする。

主な内容

- 1面
 - 通常総会
 - 祝辞
- 2面
 - 講話
 - 新役員紹介
- 3面
- 4面
 - 東日本大震災
- 5面
 - 調査報告書発行
 - 県P自慢
- 6・7面
 - たのしい子育て全国キャンペーン
 - PTA実践事例集
 - 民放連
- 8面
 - 文部科学省のページ
 - 学校の窓から
 - PTA会長日記

被災地の子どもたちに笑顔輝く教育環境を取り戻そう

社団法人日本PTA全国協議会、平成23年度通常総会が、6月28日東京都港区のホテル「プロシオン」青山にて開催されました。開会に先立ち、東日本大震災により子どもたちを含めた多くの方々がお亡くなりになられたことに対し全員で黙とうを捧げました。



この後、文部科学省初等中等教育局長長山申伸、独立行政法人放射線防護研究所長野村規制科学研究所長米原英典は、ご講話をいただきました。ご挨拶を申し上げます。

皆様をはじめ、多くのご来賓の皆様をお迎えし、開会をさますこと大変光栄であり、心から御礼を申し上げます。



祝辞 文部科学副大臣 鈴木 寛氏

この間、内閣総理大臣及び文部科学大臣からは、新学期を迎える児童生徒及び全ての学校関係者の皆様あてにメッセージを出させてください。今度の東日本大震災によりお亡くなりになった方々、被災された方々に心から御礼を申し上げます。

結びとなりましたが、愛する子どもたちにご参集の皆様のご幸福・ご健康、また、各PTA協議会の益々のご活躍を祈念申し上げます。ご協力をお願い申し上げます。

先ほど申しました35人以下学級の推進につきまして、日本PTA全国協議会の長年にわたる御尽力により、教員が子ども一人ひとりに向き合う時間を確保し、きめ細やかで質の高い教育を実現することが必要であるため、市町村が地域や学校の実情に応じた柔軟に学級を編制できる仕組みを目指すものであります。

今年3月11日に起きた東日本大震災により、多数の被災者が出ました。亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災地の学校では、未だに生徒が数多くいます。本区においても、被災地域から避難している児童・生徒が数多く在籍しています。学校はそのような児童・生徒を温かく迎えて、また、復旧・復興に向けて、子どもたちを導いていくことが求められています。

開催に先立ち相川会長より挨拶がありました。本日は、平成23年度通常総会へ各地方からの皆様にご出席を頂き、誠にありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

日頃より皆様には積極的なPTA活動にご尽力を頂くとともに、日本PTAに対し、深いご理解と協力を賜りますこと、ありがとうございます。心から御礼を申し上げます。

さて、私は、兼ねてよりPTA活動の指針として「子どもたちが安心して楽しく学ぶ教育環境づくり」各単位PTAを中心とした活動を支援していくことを念頭に置きながら活動を進めてまいりました。平成22年度、日本PTAは、以前からの、きめ細やかな教育を求める多くの教職員の増員、教職員の増員、ネットワークのフィードバックや悪質なロイヤリティへの規制強化、要望、公益法人移行への検討に加え、有善雑貨の店頭販売における改善、子ども

この間、内閣総理大臣及び文部科学大臣からは、新学期を迎える児童生徒及び全ての学校関係者の皆様あてにメッセージを出させてください。今度の東日本大震災によりお亡くなりになった方々、被災された方々に心から御礼を申し上げます。

先ほど申しました35人以下学級の推進につきまして、日本PTA全国協議会の長年にわたる御尽力により、教員が子ども一人ひとりに向き合う時間を確保し、きめ細やかで質の高い教育を実現することが必要であるため、市町村が地域や学校の実情に応じた柔軟に学級を編制できる仕組みを目指すものであります。

今年3月11日に起きた東日本大震災により、多数の被災者が出ました。亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災地の学校では、未だに生徒が数多くいます。本区においても、被災地域から避難している児童・生徒が数多く在籍しています。学校はそのような児童・生徒を温かく迎えて、また、復旧・復興に向けて、子どもたちを導いていくことが求められています。

今年3月11日に起きた東日本大震災により、多数の被災者が出ました。亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災地の学校では、未だに生徒が数多くいます。本区においても、被災地域から避難している児童・生徒が数多く在籍しています。学校はそのような児童・生徒を温かく迎えて、また、復旧・復興に向けて、子どもたちを導いていくことが求められています。

1000万会費の募集、大震災から3か月が経ち、復旧・復興に向けた活動中心として活躍してまいります。

この間、内閣総理大臣及び文部科学大臣からは、新学期を迎える児童生徒及び全ての学校関係者の皆様あてにメッセージを出させてください。今度の東日本大震災によりお亡くなりになった方々、被災された方々に心から御礼を申し上げます。

先ほど申しました35人以下学級の推進につきまして、日本PTA全国協議会の長年にわたる御尽力により、教員が子ども一人ひとりに向き合う時間を確保し、きめ細やかで質の高い教育を実現することが必要であるため、市町村が地域や学校の実情に応じた柔軟に学級を編制できる仕組みを目指すものであります。

今年3月11日に起きた東日本大震災により、多数の被災者が出ました。亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災地の学校では、未だに生徒が数多くいます。本区においても、被災地域から避難している児童・生徒が数多く在籍しています。学校はそのような児童・生徒を温かく迎えて、また、復旧・復興に向けて、子どもたちを導いていくことが求められています。

今年3月11日に起きた東日本大震災により、多数の被災者が出ました。亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災地の学校では、未だに生徒が数多くいます。本区においても、被災地域から避難している児童・生徒が数多く在籍しています。学校はそのような児童・生徒を温かく迎えて、また、復旧・復興に向けて、子どもたちを導いていくことが求められています。

今年3月11日に起きた東日本大震災により、多数の被災者が出ました。亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災地の学校では、未だに生徒が数多くいます。本区においても、被災地域から避難している児童・生徒が数多く在籍しています。学校はそのような児童・生徒を温かく迎えて、また、復旧・復興に向けて、子どもたちを導いていくことが求められています。

今年3月11日に起きた東日本大震災により、多数の被災者が出ました。亡くなった方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災地の学校では、未だに生徒が数多くいます。本区においても、被災地域から避難している児童・生徒が数多く在籍しています。学校はそのような児童・生徒を温かく迎えて、また、復旧・復興に向けて、子どもたちを導いていくことが求められています。

本紙は各校PTAに四部、内訳として「校長・教頭用」、「PTA会長・役員用」、「広報委員会用」、「事務局用」を目安にしています。



議長はすべて承認 相川敬会長が再任

議長はすべて承認 相川敬会長が再任

文部科学省初等中等教育局長 山中伸一氏



ご紹介いただきました文部科学省初等中等教育局長の山中でございます。本日は時間をいただきまして、本誌にありがとうございます。まず東日本震災で亡くなられた方々、また被災された方々に対し、心よりお悔やみ、それらのお見舞いを申し上げます。

2月2000人のうちおよそ1万2000人の子どもたちが、他県の小学校、中学校などに転学をされているという現状がございます。子どもたちが受け入れ先でいじめやいじめを受け、心身ともに苦しい状況に陥っている子どもも少なくありません。また、被災した子どもたちをスムーズに避難した先の学校に受け入れていただく必要があるので、住民ニーズの転校を認める等、弾力的に実施していただきたいと思います。

平成二十三年年度通常総会 宣言・決議

社団法人日本PTA全国協議会は、すべての児童・生徒が心身ともに健康でたくましく、心豊かに成長することを願い、全国100万会員の総意に基づき、研究・実践の成果のもとに実り豊かな活動を展開し、我が国の教育振興に大きく寄与してまいりたい。

新役員・理事・監事紹介
平成23年度
(会長) 加藤 寿一 (秋田県)
(副会長) 水上市 幸夫 (東京都)
(常務理事) 木村 正俊 (福井県)
(専務理事) 渡部 徳章 (北海道)
(監事) 内田 幸雄 (仙台市)



米原リーダー
独立行政法人放射線医学総合研究所放射線防護研究センター規制科学研究プログラムリーダーの米原典典と題して、貴重なお話を伺った。

決 議
平成二十三年年度通常総会における宣言に基づき、具体的目標として、次の事項を決議する。
記
一、家庭・学校・地域社会が互いに連携を密にして、児童・生徒の安全・安心を確保し、生命・人権の尊重、生きる力を育む家庭や地域の教育力の向上を図り、心身ともに健康な児童・生徒の育成をめざす。



会場の前にならぶ新役員・理事・監事のみなさん

皆様からの温かいメッセージを大きな力にして

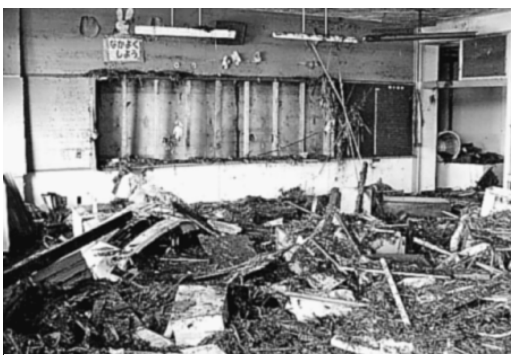
東日本大震災のその時、その後… 復旧に3年・復興はそれから

仙台市PTA協議会会長 内田 幸雄

その時、小学校1年生の女の子は、学校から帰るところでした。大きなサイレンの音で聞かされ、ヘリコプターがどこかを飛ばしています。大人たちの姿はよく分かりませんでした。

波にもまれながら、必死に顔を水上に出し、流れてきた大きな木につかまることができました。

それから10年、いろいろなことがありました。日が暮れ、しぼるようになると、心からのお母さんとホトに乗った自衛隊の人たちが助けられました。



被災した学校

全国PTA会員の皆様からいただいたお励みやご支援をいただき、心よりの感謝いたします。

震災から4ヵ月、多くの方々がなくなり、今でも行方不明の方がたくさんいます。

子どもたちは、元気でいます。しかし、今はまだ気持ちに大きな影が落ちています。

また、福島県の方々の支援をいただいております。子どもたちの心の中にも、福島県の方々の支援の思いがあります。



被災した学校

「復旧に3年、復興はそれから」という言葉は、宮城県安川町の教育長さんが口にした言葉です。

子どもたちは、元気に大きくなっています。しかし、今はまだ気持ちに大きな影が落ちています。

子どもたちは、元気に大きくなっています。しかし、今はまだ気持ちに大きな影が落ちています。

子どもたちは、元気に大きくなっています。しかし、今はまだ気持ちに大きな影が落ちています。

「復旧に3年、復興はそれから」という言葉は、宮城県安川町の教育長さんが口にした言葉です。

大地震、大津波その時子どもたちは

宮城県東松島市矢本第二中学校 前PTA会長 木村 和彦

卒業式を翌日に控えた3年生の娘は午前授業を終え家に帰っていました。午後2時46分地鳴りと共に強烈な揺れの中、テブルの下に逃げ込み揺れが収まるのを一人ですぐ耐えようとして、無事に倒壊した。避難所は中学校に向かう途中、轟轟と音とともに津波が襲ってきており、誰も津波が学校まで来る事を想像していませんでした。

避難所の中には、2年生と先生方、避難所は中学校に向かう途中、轟轟と音とともに津波が襲ってきており、誰も津波が学校まで来る事を想像していませんでした。

避難所の中には、2年生と先生方、避難所は中学校に向かう途中、轟轟と音とともに津波が襲ってきており、誰も津波が学校まで来る事を想像していませんでした。

避難所の中には、2年生と先生方、避難所は中学校に向かう途中、轟轟と音とともに津波が襲ってきており、誰も津波が学校まで来る事を想像していませんでした。

©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK ©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku ©Pokémon

東日本大震災の義援金について

お礼とご報告

東日本大震災の災害義援金の募金活動をお願いいたしましたところ、7月15日現在、全国の多数の会員の皆様から、2億1千万円の義援金が日本PTAに寄せられました。

これらの義援金の使用については、副会長を委員長とし、被災地(県・市)のPTA会長を加えた「震災対応委員会」で、被害を受けた子どもを中心とする教育関係の支援のためのより良い方法を検討してまいります。

地球を愛する心を育ててほしい... ジャポニカ学習帳の願いです

ジャポニカ 学習帳

ショウワノート

ポケットモンスター 学習帳

ドラえもん学習帳

平成22年度調査報告書発行

平成22年度「教育に関する保護者の意識調査」

平成22年度「子どもとメディアに関する意識調査」

平成22年度に実施した「子どもとメディアに関する意識調査」と「教育に関する保護者の意識調査」の結果がまとまりました。本年度も「子どもとメディアに関する意識調査」については、千葉大学教育学部教授の明石要一先生、「教育に関する保護者の意識調査」については、政経研究大学院大学教授・学長特任補佐の今野雅裕先生に、調査のご考察をいただいております。調査結果は詳しくは、日本PTA全国協議会のホームページに掲載しております。お問い合わせは、ホームページアドレス <http://www.nippon-ptajp.com/>

本調査は、平成17年度から平成17年度までテレビ・インターネット・マンガ・雑誌・パソコン等社会環境についての意識調査として実施し、平成18年度からは子どもを取り巻く社会環境の変化に対応すべく「子どもとメディア」に関する意識調査として実施しました。また、情報・通信技術の進歩に伴う子どもとメディアの進歩、いわゆるスマートデバイスと子ども高年齢化との変遷し続ける社会生活形態などの変化に対応すべく「子どもとメディア」に関する意識調査として実施しました。また、情報・通信技術の進歩に伴う子どもとメディアの進歩、いわゆるスマートデバイスと子ども高年齢化との変遷し続ける社会生活形態などの変化に対応すべく「子どもとメディア」に関する意識調査として実施しました。

平成22年度は、今までの調査内容を継続し、子どもたちの生活の中での友達とのコミュニケーションおよび「子どもとメディア」に関する意識調査として実施しました。また、情報・通信技術の進歩に伴う子どもとメディアの進歩、いわゆるスマートデバイスと子ども高年齢化との変遷し続ける社会生活形態などの変化に対応すべく「子どもとメディア」に関する意識調査として実施しました。

本調査は、平成17年度より「現在進められている学校教育における新たな取り組み」について、PTA会員(保護者)がどのように理解し、何を期待しているか、またどのように感じられているかについての意識調査を実施しました。また、本調査のデータを今後の学校教育、家庭教育を考えた上で、資料に提供することを目的としています。

平成22年度の調査は過去8年間の調査を継続しながら、「新学習指導要領」の実施とその子の保護者の周知度、学力の問題

「テレビの視聴状況」アンケートの振り返り「ゲームの利用状況」アンケートの振り返り

「子どものテレビの視聴状況」アンケートの振り返り

「子どものメディア利用状況」アンケートの振り返り

「保護者の子どもに対する期待」アンケートの振り返り

「保護者の子どもに対する期待」アンケートの振り返り

1. 学校教育について	1. テレビについて	1. テレビについて	1. 子どものテレビの視聴状況	1. 子どものメディア利用状況	1. 保護者の子どもに対する期待
2. 新学習指導要領改訂	2. ゲームの利用状況	2. 子どものテレビの視聴状況	2. パソコンの利用状況	2. パソコンの利用状況	2. 保護者の子どもに対する期待
3. 総合的な学習の時間	3. マンガ・コミック、雑誌について	3. 保護者が子どもに見せたいテレビ番組	3. パソコンの利用方法	3. パソコンの利用方法	3. 保護者の子どもに対する期待
4. 小学校の外国語英会話	4. 携帯電話・PHSの利用状況	4. 子どもの社会環境で今いちばん困っていること	4. 子どもの社会環境で今いちばん困っていること	4. 子どもの社会環境で今いちばん困っていること	4. 子どもの社会環境で今いちばん困っていること
5. 道徳	5. 保護者が子どもに見せたいテレビ番組	5. パソコンの利用について	5. パソコンの利用について	5. パソコンの利用について	5. パソコンの利用について
6. 教員の資質能力	6. 保護者が子どもに見せたいテレビ番組	6. パソコンの利用方法	6. パソコンの利用方法	6. パソコンの利用方法	6. パソコンの利用方法
7. 中学校での部活動	7. 子どものメディア利用状況	7. メディア全般について	7. メディア全般について	7. メディア全般について	7. メディア全般について
8. 学校支援地域本部事業	8. 子どものメディア利用状況	8. メディア全般について	8. メディア全般について	8. メディア全般について	8. メディア全般について
9. 放課後子ども教室	9. 子どものメディア利用状況	9. メディア全般について	9. メディア全般について	9. メディア全般について	9. メディア全般について

県民自慢 札幌市P シリーズ64

「あったかい大人 頼れる大人 子どもとともに 地域とともに」

「人とのかわり合いの大切さ」

札幌市PTA協議会会長 山本 清和

札幌市PTA協議会 深め、人とのかわり合いの大切さを学ぶことを目的としています。

札幌市PTA協議会会長 山本 清和

「あったかい大人 頼れる大人 子どもとともに 地域とともに」

「人とのかわり合いの大切さ」

札幌市PTA協議会会長 山本 清和



研修セミナー



研修セミナー会場風景



PTA実践事例集(26)

子どもにも健やかな育成のために

現代の情報化社会は子どもたちの生活からその事例を選定したPTA実践事例集(26)が完成しました。現代の情報化社会は子どもたちの生活からその事例を選定したPTA実践事例集(26)が完成しました。

- ① 家庭での生活習慣改善
② 読書推進の取組み
③ 職業意識の涵養をめざす取組み
④ 組織運営改善への取組み
⑤ サポーター制度の運用
地域による学校支援促進

親子で話そう! 家族のきずな・我が家のルール

三行詩募集

家庭はすべての教育の出発点。日常の親子の会話、コミュニケーションなどから育まれる家族の「きずな」や、家庭でのルール作り、「早寝早起き朝ごはん」といった生活習慣づくりなど、日頃から親子で話し合ったり、一緒に取り組んだりすることの大切さをテーマとする三行詩を募集します。

- 応募の方法
募集期間
応募対象
選考
応募方法

主催
文部科学省
社団法人日本PTA全国協議会

たのしい子育て 全国キャンペーン

親子で話そう! 家族のきずな・我が家のルール

募集内容
日常の親子の会話、コミュニケーションの中から育まれる家族の「きずな」や、家庭でのルール作り、早寝早起き朝ごはんなど、日頃から親子で話し合ったり、一緒に取り組んだりすることの大切さをテーマとする三行詩を募集します。

- 募集対象
応募方法
選考
応募方法



開会の挨拶をする相川会長、他日本PTA出席者

民放連との懇談会

平成9年から始まり、今年で15回となる日本PTAと社団法人日本民放連(民放連)との懇談会が、平成23年6月7日(水)午前10時30分から12時まで、東京都千代田区尾井町の民放連3階の第6会議室で開かれた。

のあいさつ、日本PTAを代表して相川敬会長のあいさつ後、青少年とメディアをめぐる意見交換を行った。

最初に、民放連から、「青少年にみてもらいたい番組」の選定状況メディアリテラシー実践プロジェクト

民放連からは、民放連から放送の自律に関する専門部会の委員、在京民放テレビ各社の番組編成・制作の責任者など20名が、日本PTAから三役および環境対策委員会正副委員長の名が出席し、メディアリテラシーなどについて、活発な意見交換が行われ、有意義な懇談会となりました。

テレビメディアの青少年の健全育成への配慮に関する要望書
このたびの東日本大震災により、生活環境全般に対する社会の意識や価値観が、大きく揺らいでいます。子どもたちにも、その影響は大きく、様々なメディアの情報に晒され、将来の希望を持てず、悲観的になってしまわないか、親として危惧しているところ。一刻も早く安心感を取り戻し、国が一丸となって、復興に向けた力強い船音が鳴り響く日を心から待ち望んでおります。

今回の調査結果でも、「見せない番組」より「見せたい番組」の方が数値が高く、保護者の間で、テレビ視聴は送り手の問題もあるが受け手の自己責任という意識が定着しつつあります。

しかしながら、子どもにとっては好ましくない番組は、第一義的に家庭の責任であるとの認識は十分に理解した上で、番組制作会社、放送会社におかれましても格のある法人として健全な社会を構成する責任は保護者と同じと考えます。人格形成期の児童・生徒に対するテレビメディアの増がななりつつある中、有言情報に子どもが直接さらされる危険が増え続けることは看過できません。

自由で豊かな日本であるために、表現の自由を尊重しつつも、現状を鑑みるに児童生徒の健全育成をはかる上で、放送各社、制作会社に左記の事項を強く要請いたします。

- 一、番組の制作及び放送にあたり、テレビメディアの影響力と、テレビ局の社会的責任を十分に認識され、今回の調査を真実に受けとめ、今後の番組放送に反映していただきたい。
一、番組の中で、児童・生徒を消費者としてのみ捉えたり、ケータイや有害サイト等の情報を教育環境浄化の視点から配慮をし、放送していただきたい。
一、メディアリテラシーの重要性を認識し、視聴者と双方関係を持つ議論を深めていただきたい。

社団法人日本PTA全国協議会 会長 相川 敬

保護者や地域とともにある学校づくり

今後の学校運営の在り方について有識者が提言

「学校運営の改善の在り方等に関する調査研究協力者会議」の提言

文部科学省では、保護者や地域に開かれ、信頼される学校づくりを一層進めるため、平成22年10月18日の、有識者による「学校運営の改善の調査研究協力者会議」(座長・大茂茂千早)で、協力者会議(以下、「協力者会議」)を設置し、実効性のある学校運営の改善策等について議論を重ねてきました。

「協力者会議」が7月1日にとりまとめた提言は、「平素からの学校と地域の人々との関係づくりが、人々の学びや成長を促し、ひいては、子どもたちを守り、地域を守ることにつながること」(被災地において)、「多くの学校が避難所として地域の確保」(震災)、「学校と地域の関係は、子どもを中心に据え、家庭とあわせて、体制を構築し、子どもの成長とともに、教師や保護者、地域住民等とともに学びあうことが、開かれた成長を遂げていく」という姿勢が理想であることなど、学校と保護者、地域の連携の重要性を再掲すべき学

関係の構築が進み、例えば「多くの保護者、地域の皆さんが先生役や見守り役に」学校に協力してくれるようになり、「保護者の学校への苦情が提案や相談、協力等に変化した」地域のお祭りづくりなどに参加する子どもが増え、地域が活性化しています。地域が見られていた。一方、「より多くの人の参画を得ること」や「継続的な取組を進めるための支援の確保」などの課題も明らかになっています。



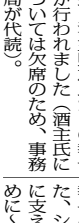
教育の情報化ビジョン

21世紀は、新しい知識・文化をはじめ社会のあらゆる領域で政治・経済・文化を基盤とする重要性が増す知識基盤社会のありかと言われています。教育の情報化は、21世紀の世界において生きていくための基礎となる力を育むための大きな意義を持っています。21世紀を生きる子どもたちは、確かな学力、豊かな心、健康な体といった「生きる力」が求められますが、情報活用能力を育むことは、「生きる力」に資するものであり、こうした考え方は、国際的にも共有されています。情報通信技術(ICT)は、時間的・空間的制約を越えること、双方向性があること、カスタマイズが容易であることなどの特徴ももっています。情報化を進展する中で、「ICT」の特長を最大限に生かして、一斉指導による学び(一斉学

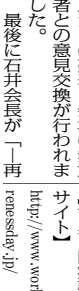
世界自閉症啓発デー2011 シンポジウムを開催
同日には、(財)日本自閉症協会、厚生労働省などの関係団体、(国)立特別支援教育総合研究所などから構成される「世界自閉症啓発デー2011」世界実行委員会(以下「実行委員会」)が中心となり、シンポジウムの開催が予定されておりましたが、3月の東日本大震災の被害等の状況も踏まえて、延期となりました。

石井哲夫会長からの主催者挨拶の後、内閣府から岡田大臣政務官、文部科学省から等々大臣政務官が挨拶する。また、来賓として渡部恒興議員が読み上げられました。また、実行委員会として渡部恒興議員、尾辻秀久参議院議員が挨拶されました。

午後に入り、仙台市の自閉症のある人たち等による弦楽合奏サークル「お宙ストリングス」による演奏。続いて「支援者からの報告」というテーマで、市立札幌病院静養部、河合健全会(財)日本自閉症協会、森下尊広氏、国立障害者リハビリテーションセンター、発達障害情報センター(一般社団法人日本発達障害ネットワーク)被災地派遣チーム、鈴木さとみ氏、特定非営利活動法人東京発達障害者支援協会、柴田洋輝氏、日本自閉症スクールカウンセラー、日本自閉症協会、山梨県都留児童相談所近藤直司氏(財)日本自閉症協会 大久保洋氏、宮城県特別支援教育センター、朝日新聞社、赤井陽介氏からの発表と会場の参加者の意見交換が行われました。



文部科学大臣 野田聖子



お宙ストリングスによる演奏

文部科学省

「東日本大震災・子どもの学び支援ポータルサイト」の開設について

文部科学省生涯学習政策局政策課

東日本大震災の発生から約4ヶ月が経ちましたが、復興にあたっては、未だ子どもを含む多くの被災者が様々な支援を必要としています。特に、子どもたちは通常の生活支援や心のケアだけでなく、学習状況に乳児がするなどにより、将来に支障をきたさないようにすることが必要です。

文部科学省では、平成23年4月1日より、被災地域のニーズと、支援を検討している地方公共団体・教育委員会・学校・企業・NPOなどのマッチングが円滑に行なわれるよう、「東日本大震災・子どもの学び支援ポータルサイト」を開設・運用しており、これまで、ボランティアなどの人的支援、学用品提供をはじめとする物的支援など、多くの支援が実現しています。

■支援の実現例
具体的には、学習支援ボランティアや学習ドリル、辞書などの多くの支援又は支援の要請・提案は教育委員会・学校だけではなかなか、PTAとして登録いただくことが可能であり、実際に登録もされています。

※相談ダイヤル 午前9時30分～午後7時(土日祝日を除く、当面的)
080-080-2071-16809
※子どもの学び支援ポータルサイトでは、被災地の子どもへ学び支援に関する一夏休みのキャンプ・合宿に関する支援情報(概ね8月までの情報)や「奨学金関連情報」も掲載しております。あわせてご覧下さい。

東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト
支援の要請
支援の提案
支援の実現について
支援の実現例
PTA単位でもご利用

国立美術館の鑑賞教材「アートカード」
東京国立近代美術館や国術館5館の所蔵作品が鑑賞教材になりました。A6サイズの作品カード65枚を使用し、だれでも楽しく鑑賞の基本を身につけることができます。
アートカード見本
8つのゲームルール
お問い合わせ先
販売先:東京国立近代美術館ミュージアムショップ TEL03-3214-2561

九州新幹線全線開業記念特別展 「よみがえる国宝」守り伝える日本の美
平成23年6月28日(火)～8月28日(日)
九州国立博物館
戦争や災害、時代の大幅な変化と巧みに付き合ってきた日本の美と宝。書跡・典籍・古文書・絵画、工芸の保存と修理に関わり、深い各品の数々を紹介いたします。また、正倉院宝物の復元模造はじめ模写・模造の優品をお見せし、この不思議なところをお伝えいたします。文化財の保護を身近に感じていただければ幸いです。
福岡県大宰府市石坂4-1-7 TEL 090-5304-21800 (NTTハローダイヤル) 8:00～22:00 (入館時間) 9:30～17:00 (入館は閉館の30分前まで)
休館日 7月18日(月) 7月20日(水) 8月15日(月)
観覧料 大人1,300円、高校生1,000円、小学生600円
※この料金で文化交流展もご覧いただけます。
URL http://www.kyuhaku.jp

KIDS☆MOMAT2011 東京国立近代美術館のなつやすみ

今年も、美術館・工芸・映画のために鑑賞プログラムを用意!
8月31日までの期間中には、美術・工芸・映画館がそれぞれ、小中学生が楽しくなるイベントを多数開催します。
今年も、美術館・工芸・映画館がそれぞれ、小中学生が楽しくなるイベントを多数開催します。
今年も、美術館・工芸・映画館がそれぞれ、小中学生が楽しくなるイベントを多数開催します。

視覚の実験室
モホイ・ナジ / イン・モーション
京都国立近代美術館
国立劇場 十二月文楽鑑賞教室
「解説 文楽の魅力」
日程 12月13日(日) 11時～12時、12月24日(日) 11時～12時
料金 一般2,000円、学生1,300円
団体観劇(10名以上)のお問合せは営業課の3-32050-0610
http://www.tkf.jp

常任幹事会 常置委員会

報告

7月15日(金) ホテルフロンティア青山に於いて、常任幹事会が開催された。相川会長の挨拶のあと、次の議事が討議、承認された。

1. 義務報告(5月、6月)
2. 二校の職務分担及び会長の職務代理者の指名・顧問、相談役の委嘱について
3. 震災対応委員会について
4. 公益法人準備委員会について

7月14日(木) ホテルフロンティア青山に於いて、常置委員会を開催された。

5. 各委員会の報告
6. 全国研究大会ひろしま大会について
7. 全国研究大会ひろしま大会・宣言決議事項委員について
8. 全国研究大会京都大会について
9. ブロック研究会の補助金の増額について
10. その他(広報紙コンクールについてなど)

12. その他
新年度の活動がスタート
 6月7日、日P事務局会議室において、平成23年度第1回映画審査委員会及び広報委員会が開催された。

続いての合同委員会では、相川会長より委嘱状を交付し、23年度の活動がスタートした。各委員会は今年の1年、次のように活動を行う。

【映画審査委員会】
 社会教育または学校教育に価値が高く、広く利用されるものが適当と認められるものを推薦する。

【広報委員会】
 年4回発行、各8面、13万部の広報紙作りに取り組んでいく。

【映面審査委員会】
 委員 西岡 豊(佐賀県)
 副委員長 加藤寿一(秋田県)
 新谷珠恵(東京都)

【厚生委員会】
 委員長 副井仁志(長野県)
 副委員長 長島由佳(横浜市)
 加藤千政(広島県)

学校とPTAと地域と

◆学校の概要
 本校は生徒数150名の小規模校で、昨年度に情緒障害特別支援学級(固定)を開設した。保護者や地域の信頼に応えるため「質の高い教育の推進による、魅力と活力があり、生徒が誇れる赤坂中学校」を目指して、日々教育活動を推進している。

◆本校のPTA
 本校は、昭和9年の新学制制と同時に創立し、昭和23年には早くもPTAが発足して積極的に活動し、施設、備品等に足がらみ、当時から学校施設・設備の充実に向かっていた。赤坂中学校は、生徒が誇れる赤坂中学校」を目指して、日々教育活動を推進している。

環境対策委員会

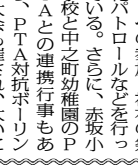
中山貴志(岐阜県) 委員長
 佐藤辰夫(福島県) 副委員長
 長屋博久(京都市)

また、PTAとして、積極的に参加し、地域の青少年の健全育成に努めている。中でも12月に開催される「いも煮会」は赤坂中学校と地区委員会が共催して行っており、地域の防災訓練も兼ねているため、毎年400名を超える参加者がある。赤坂中学校は、生徒が誇れる赤坂中学校」を目指して、日々教育活動を推進している。

7月15日(金) ホテルフロンティア青山に於いて、事務局連絡会が開催されました。この連絡会には全国から事務局担当者や日本PTAの三校、日P事務局が集い、日本PTAの事業計画の説明と質疑応答が行われた。

【山浦勝雄】 〇加納京子
 【西村慎子】 〇山田優子
 【関悦子】 〇小林裕子
 【日原しずか】(副委員長)

2011年
 8月26日(金) 27日(土)



シリーズ④

Column 学校の窓から

◆学校の概要
 本校は、昭和9年の新学制制と同時に創立し、昭和23年には早くもPTAが発足して積極的に活動し、施設、備品等に足がらみ、当時から学校施設・設備の充実に向かっていた。赤坂中学校は、生徒が誇れる赤坂中学校」を目指して、日々教育活動を推進している。

◆本校のPTA
 本校は、昭和9年の新学制制と同時に創立し、昭和23年には早くもPTAが発足して積極的に活動し、施設、備品等に足がらみ、当時から学校施設・設備の充実に向かっていた。赤坂中学校は、生徒が誇れる赤坂中学校」を目指して、日々教育活動を推進している。

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

◆PTAの活動
 PTAの主な活動は、「1年間を通し、中学

あるPTA会長の日記から

まだ梅雨も明けていないといわれる猛暑日が続いたりとは今年はずいぶん暑い夏になりそうだが、一方今年は節電をしなければならぬ夏でもある。

暑い室内にいる時、我慢して我慢して、エアコンを使わずにいたため電費は節約できたが体調を崩してしまったというのあれば意味がない。

まだ梅雨も明けていないといわれる猛暑日が続いたりとは今年はずいぶん暑い夏になりそうだが、一方今年は節電をしなければならぬ夏でもある。

暑い室内にいる時、我慢して我慢して、エアコンを使わずにいたため電費は節約できたが体調を崩してしまったというのあれば意味がない。

節電対応

節電は確かに大切なことではあるが、ただ我慢しただけでは、節電の効果がなかなか得られない。節電対応とは、節電をしながら、生活の質を落とさずに暮らすこと。節電対応とは、節電をしながら、生活の質を落とさずに暮らすこと。

節電は確かに大切なことではあるが、ただ我慢しただけでは、節電の効果がなかなか得られない。節電対応とは、節電をしながら、生活の質を落とさずに暮らすこと。節電対応とは、節電をしながら、生活の質を落とさずに暮らすこと。

ひろしま大会

がんばろう日本！平和な未来へ
 ～ひろしまからの発信～
 ください！みんな！やりんさい！子どもたちの笑顔のために

◆大会趣旨
 子どもたちをとりまく環境は日々変化し、多くの課題や問題点が発生しています。子どもたちの笑顔が絶えず、まじめ、いきいきとした心豊かな生活を送ることができるようになるためには、私たちPTAは何をすべきなのでしょう。かこひの保護者として、教職員として、おとなとして「ひろしま」の心にならなければならない。語り合おう！

平成23年3月11日に東日本で大発生した未曾有の大震災からの復興に向けて、日本は一つとなり進んでいます。「PTA」として、

全体会記念講演

乙武洋匡氏
 ～みんながって、みんない～

◆大会日程
 8月26日(金) 分科会
 広島県内10会場
 8月27日(土) 全体会
 広島県立総合体育館(広島アリーナ)

そよ風通信

前号の編集作業が終了した時に東日本大震災が起きました。広報委員一同、被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに、おしよりの心でいられた方々の責備を心よりお祈り申し上げます。また、復旧復興には長い時間を要しますので、応援し続けることを心掛けた紙面作りもしていきたいと思っております。

前号の編集作業が終了した時に東日本大震災が起きました。広報委員一同、被災された方々にお見舞いを申し上げるとともに、おしよりの心でいられた方々の責備を心よりお祈り申し上げます。また、復旧復興には長い時間を要しますので、応援し続けることを心掛けた紙面作りもしていきたいと思っております。